ハッピールームぴよぴよ 支援										プログラム 作成日: 令和6年12月21日					
; H	法人理念	私達は	、常に研鑚	に研鑽し利用者の方々に共に生きる環境と寄り添う福祉を提供します。											
支持		ひとりで ます。	こりひとりの今できること、得意なこと、苦手なことを適切に把握し、興味のある遊びを通して日常生活動作や集団生活に必要な能力を身に着けられるよう支援し す。												
営	業時間		8	時	30	分から	16	時	30	分まで	送迎実施の有無	あり	なし		
	支援項目		支援の目的・めあて									活動		※一部紹介	
本人支援	健康・	生活	*基本的生活スキルの獲得:生活の中で練習を繰り返したり、工程を細分化しスモールステップで取り組							*手洗い練習					
	運動・	咸曾	* 姿勢と運動、動作の向上:感覚統合、粗大運動を取り入れ全身の発達を促す。 * 姿勢と運動、動作の補助的手段:個々の感覚に合った支援を行う。(足裏刺激、姿勢保持のための環境 設定等) * 保有する感覚の総合的な活用:感覚の統合を促進できるような活動を取り入れる。							*トランポリン*ブランコ*ハンモック*ターザンロープ *バランスボール*バランスボード*サーキット *カラーバルーン*ダンス*リトミック*リレー*ボール遊び *回転遊び*キャタピラレース*感覚刺激遊び(粘土、スライム等)					
	認知・	行動	*認知の発達と行動の習得:認知機能の向上と集団生活の中で行動の調整ができるよう支援する。 *空間、時間、数などの概念形成の習得:机上課題や絵本、日々の活動の中で「大きい」「小さい」や 色、数、時間等の定着を図る。 *対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得:個々の特性に配慮した環境設定を行う。								*パズル*絵カード *マッチング *迷路 *塗り絵 *製作*タングラム *シールはり *宝探し *積み木 *影絵遊び *?ボックス *季節の製作				
	言語 コミュ ケーシ	吾 1二	*言語の形成と活用:絵本や絵カード、日々の活動の中で言葉を覚え、定着を図る。 *言語の受容及び表出:他者の言葉を受けとめたり、自己の意思を表出できるような関わりを行う。 *コミュニケーションの基礎的能力の向上:他者へ自己の意思を伝える練習を行い、他者へ伝わる喜びを感じる。 *コミュニケーション手段の選択と活用:絵カードやジェスチャー等本児が伝えやすい形を提案し、習得に向け支援する。							*お買い物ごっこ *インタビューごっこ *絵カード *クイズ					
	人間関社会	関係	*他者との関わり(人間関係)の形成:職員と信頼関係を築き、安心できる環境を作る。他者との関わを通じ、他者の存在を認識し、思いに気づけるよう支援する。 *自己の理解と行動の調整:自己を知り、他者を知ることで社会性の向上を図る。 *仲間づくりと集団への参加:集団活動への参加を促すことで、遊びや場所を共有し他者との関りに繋るよう支援する。							*インタビューごっこ *2人で協力ゲーム					
家族支援			活動の様子や課題として取り組んでいる事、支援内容などを共有する。また、困りごとなどがある際は面談などを行い解決に向けて連携を図る。							職員の質の向上 研修の案内、研修参加の為の費用負担、勤務調整。 事業所内研修の充実。					
	移行支援 地域支援	豆	関係機関と当事情所での様子が相互で把握できるよう、常に情報共有を行う。また関係機関で役割分担を行うと共に、情報を共有し効果的な声掛けや取り組みについては各機関で統一した支援が行えるようにし、地域へ移行できるよう働きかける。当法人放課後等デイサービスへ移行する利用児に関しては、移行プログラムに沿って移行の準備を進めていく。												
主な行事			季節の行事	(夏祭り、人	ハロウィン、	クリスマス会	会、節分等	()							